

埼玉県生活協同組合連合会の役割

埼玉県の生協は、商品や消費に関わる事業、医療・福祉事業、住宅事業、共済・保障事業、大学生活など、組合員の多様なニーズに応えた事業を提供し、食と商品、健康、環境や平和、生活困窮者支援、消費者被害防止など、埼玉の地において多彩な活動を続けてきました。

埼玉県の生協は、助け合いの組織として、事業と活動の両輪から組合員・消費者の生涯にわたる暮らしを支え、埼玉県では230万組合員(のべ)・事業高約1,959億円にまで成長しました。

創立から50年を迎え、埼玉県生協連は、「持続可能な開発目標(SDGs)」と「日本の生協の2030年ビジョン」を大切にし、地域社会の一翼を担い、活動を進めます。

●安心して暮らし続けられる地域社会(埼玉)づくり

助け合い活動、生活支援活動、居場所づくり、健康づくり、防災・減災の取り組み、消費者被害防止活動など地域における多様な見守り活動を進めます。地域の組合員と多主体が協働し、安心できる地域コミュニティを構築します。

●誰一人取り残さない持続可能な社会づくり

地球温暖化防止に向けて、脱炭素社会・地域循環型社会・自然共生社会の実現をめざします。被爆・戦争体験を継承し、核兵器の廃絶と世界平和の実現をめざします。ジェンダー格差を解消し、個性と多様性を認め合える社会をめざします。

●幅広い県内ネットワークづくり

生協間連帯をはじめとして、行政や議会との連携、協同組合間協同、消費者団体や諸団体・多主体との協力を深め、「安心して暮らし続けられる地域社会(埼玉)づくり」と「誰一人取り残さない持続可能な社会づくり」を進めます。

●生協への共感と信頼づくり

行政や県議会各会派との懇談、諸団体との対話と協働、広報活動により、生協への理解と共感を促進し、県内生協の認知度向上に貢献します。事業や活動への信頼を醸成し、埼玉県や地域における生協の社会的価値を高めます。

●生協の事業と活動の継続・発展を支える組織運営

機関会議や分野別会議、組合員・役職員の学習や交流を通じて、くらしや地域を豊かにする活動を広げます。コンプライアンスにもとづく運営、会員参加のガバナンスにより、生協の事業と活動の継続・発展を支援します。

(2022年3月17日 埼玉県生協連2021年度第6回理事会議決)

